

令和6年竹田市議会第1回定例会

一般質問通告一覧表

3月5日(火)

順番	議席	議員氏名	会派・党派
1	3番	熊野忠政議員	無会派
2	4番	工藤忠孝議員	無会派

3月6日(水)

順番	議席	議員氏名	会派・党派
1	6番	後藤建一議員	創生会
2	9番	上島弘二議員	日本共産党
3	5番	阿南智博議員	忠恕ユニット
4	11番	山村英治議員	無会派

令和6年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月5日（火）】

質問順位 1 番

議席番号 3 番 熊野 忠政 議員（無会派）

発言事項	発言の要旨	答弁者
1. 震災対策について	<p>(1) 上水道の耐震化について (ア) 竹田市の水道管のうち、基幹管路の耐震適合率と、今後の対応をどう計画し進めていくのか。</p> <p>(2) 住宅の耐震化について (ア) 1981年5月以前に建てられた旧耐震木造住宅の耐震改修工事の進捗状況を伺う。</p> <p>(イ) 竹田市全体の住宅耐震化率は県平均、全国平均と比べてどうなのか。</p> <p>(ウ) 耐震改修工事の補助額のアップはできないか。</p> <p>(エ) 就寝中、地震で倒れてきた家具や落下物、家屋の倒壊などから身を守るため、耐震ベッド設置工事補助事業を始めてはどうか。</p> <p>(3) 高齢者や障がい者対応について (ア) 震災時の高齢者や障がい者に対する避難や避難後の対応体制はどうなっているのか。</p> <p>(4) 備蓄について (ア) 震災に対しての備蓄の品目や数量、更新状況等を伺う。</p>	
2. 防災・減災対策について	<p>(1) 事前復興計画について (ア) 震災やそのほかの災害に備えての準備や、災害発生後、短期間で復旧・復興を推進するための事前復興計画の策定にとりかかってはどうか。</p>	

令和6年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月5日（火）】

質問順位 2 番

議席番号 4 番 工藤 忠孝 議員（無党派）

発言事項	発言の要旨	答弁者
<p>1. 災害対策について</p> <p>2. 宮城地区の地域振興について</p> <p>3. 竹田市立こども診療所について</p>	<p>(1) 災害発生時備蓄品について (ア) 市の保有する災害発生時備蓄品は何日分を想定しているか。 (イ) 本庁から各地域の公民館・自治会公民館へ備蓄品の分散を検討すべきではないか。</p> <p>(2) 福祉避難所の指定について (ア) 8箇所の福祉避難所が指定されているが、今後増やす計画はあるか。</p> <p>(1) 宮城地区の地域振興について (ア) 黄牛の滝駐車場内へ多言語対応の看板及びパンフレット設置が急務ではないか。 (イ) 志土知地区にある絶滅危惧の植物「紫草」保護のために市として支援できないか。</p> <p>(1) 竹田市立こども診療所について (ア) これまで多くの職員が心の病を発症している現状をどのように認識しているか。 (イ) 職員を今後も市立こども診療所への異動を考えているのか。 (ウ) これまで執行部からは、診療所再開の協議は、医師の退院後に行うとの説明があったが、期限を定めないのであるか。</p>	

令和6年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月6日（水）】

質問順位 1 番

議席番号 6番 後藤 建一 議員（創生会）

発言事項	発言の要旨	答弁者
1. 市職員の離職について	<p>(1) 若手職員の育成及び退職状況について</p> <p>(ア) 新規採用した市職員について教育、研修はどのように行っているのか。</p> <p>(イ) 新規採用後、数年で退職する職員が増加していると聞いている。過去5年間の実態について伺う。</p> <p>(ウ) 若年層の退職者が増えている要因とその解決策をどう考えているか。</p>	
2. 消防行政について	<p>(1) 消防団員の確保について</p> <p>(ア) 消防団員の確保はどのように取り組んでいるのか。</p> <p>(イ) 消防団員の出動手当の増額は出来ないか。</p> <p>(2) 消防団員の活動について</p> <p>(ア) 高齢者宅の住宅火災警報器の設置の状況は。</p> <p>(イ) 住宅火災警報器の設置は消防団ができないか。</p>	
3. 高齢者福祉について	<p>(1) 介護ヘルパーの高齢化に対する施策について</p> <p>(ア) 訪問介護ヘルパーの高齢化が進んでいるが、今後の人材確保はどうするのか。</p> <p>(2) 保健師の配置状況について</p> <p>(ア) 令和3年度から保健師が本庁集約配置になった経過を伺う。</p> <p>(イ) 行政サービスの効率化と向上のため、保健師を各支所へ分散配置は出来ないか。</p>	
4. 林業行政について	<p>(1) 林業の人手不足について</p> <p>(ア) 特定地域づくり事業協同組合制度の取組状況は。</p> <p>(イ) 竹田市バイオマス産業都市構想の進捗状況は。</p> <p>(ウ) 森林の相続や管理をどのように対応しているのか。</p> <p>(エ) 所有者不明の放置林問題について、どう対応していくのか。</p> <p>(オ) 市有林の伐期がきている。処理をし、市の財源にしてはどうか。</p>	

令和6年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月6日（水）】

質問順位 2番

議席番号 9番 上島 弘二 議員（日本共産党）

発言事項	発言の要旨	答弁者
1. 竹田市立こども診療所について	<p>(1) 竹田市立こども診療所について</p> <p>(ア) 令和5年12月8日に竹田市役所にて市長と診療所医師の主治医が、こども診療所再開に向けて面会した際の「主治医としての見解と要望」はどのような内容のものであったか伺う。</p> <p>(イ) 診療所医師の現場復帰までの、主治医の見解と要望をどう判断されたのか。</p> <p>(ウ) 「民主竹田」第27号に、高野医師の主治医の「意見書」を掲載した。それによれば「現状の市の対応では、高野医師の回復は見込めません」とある。これについて市長はどのように考えるか。</p> <p>(エ) こども診療所医師の診療復帰を、専門医としての医学的判断にまかせず、市として医師の復帰までの想定をどのように描いているのか問う。</p>	
2. 通学路の整備について	<p>(1) 通学路の整備について</p> <p>(ア) 三宅～鏡交差点間の歩道（通学路）状況について担当課はどう受けとっているか問う。</p> <p>(イ) この状況について、どう対応されたか問う。</p> <p>(ウ) 通学路の整備について今後の考え方を問う。</p>	
3. 指定避難所の環境整備について	<p>(1) 指定避難所の環境整備について</p> <p>(ア) 指定避難所に女性専用トイレを整備すべきと考えるがどうか。</p>	
4. 庁舎照明のLED化について	<p>(1) 庁舎照明のLED化について</p> <p>(ア) 本庁・支所全ての照明器具をLED化すべきでないか問う。</p>	

令和6年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月6日（水）】

質問順位 3 番

議席番号 5番 阿南 智博 議員（忠恕ユニット）

発言事項	発言の要旨	答弁者
<p>1. 幼保小の架け橋プログラムについて</p>	<p>(1) 幼保小の架け橋プログラムについて</p> <p>(ア) 幼保小の架け橋プログラムの概要について説明を求める。</p> <p>(イ) 竹田市は、幼保小の架け橋プログラムの調査研究事業において九州で唯一モデル地域に採択されている。採択に至る経過を伺う。</p> <p>(ウ) 竹田市において架け橋プログラムを進める背景として特段の課題があるのか伺う。</p> <p>(エ) 幼児教育施設と小学校は、3要領・指針及び小学校学習指導要領に基づき、これまでも円滑な接続が求められたと思うが、あえて架け橋期の2年間で重視するのはなぜか。</p> <p>(オ) カリキュラム開発に向けて南部幼稚園と南部小学校をモデル園・校に指定し開発と実践が進められている。その取組について。</p> <p>(カ) カリキュラムの開発と実践及び検証を通じて、現在どのように評価をしているか。</p> <p>(キ) 令和6年度から竹田市版カリキュラムを基に市内の全ての園・小学校にプログラムを推進していくと思うが課題はあるか。</p> <p>(ク) 架け橋期の子どもの育ちと学びを支えるためには家庭や地域の理解と協力が重要になると思うが、その取組を伺う。</p>	

令和6年第1回（3月）定例会一般質問事項

【3月6日（水）】

質問順位 4 番

議席番号11番 山村 英治 議員（無党派）

発言事項	発言の要旨	答弁者
<p>1. 竹田市立こども診療所の再開に向けた課題について</p>	<p>(1) こども診療所の諸課題について</p> <p>(ア) 令和5年12月21日付のこども診療所医師の主治医が作成した「意見書」を市は受領しているか。</p> <p>(イ) 市長は、同「意見書」の内容を把握しているか。</p> <p>(ウ) 同「意見書」には、高野医師に対して、市も議会も配慮に欠ける行為が多々見られるとあるが、これに思い当たることはあるか。</p> <p>(エ) 同「意見書」には、市、議会、市民、医療関係者、皆で協力し合い、高野医師を支えていくことが必要だとあるが、これについてどう考えるか。</p> <p>(オ) 同「意見書」には、主治医の医学的立場からの意見が何よりも優先することは職場の義務と書いてあるが、市長が主治医の処方を受け入れない理由はなにか。</p> <p>(カ) 主治医の処方を受け入れないことは、働く者の心豊かな生活を守るというメンタルヘルス対策の根本理念や人道的な面から問題があるのではないか。</p>	